Toyroro®
HOIKUEN

about us

園名の由来	トイロロという名前は、 おもちゃの“TOY”と“十人十色”から。
ロゴの由来	トイロロの「ト」の文字を 積み木のイメージで表現。

Team Toyroro

トイロロ保育園は、0歳児（6カ月）～2歳児の12名のお子さまをお預かりする「小規模保育」です。また「病児保育」も併設しています。食事は自園調理で、子どもたちの成長に合わせたメニューを作成し提供しています。保育士・看護師・栄養士・調理師――それぞれの専門職が常にチームとなって子どもたちの成長を見守っています。

心に余裕のある保育

子どもと接することは楽しいけれど、役割や負担の多さに追われ、いつの間にか笑顔を忘れ思い悩む経験をされた保育士さんは多いのではないでしょうか。
認可保育園では０歳児の子ども３～４人に対して、保育士１名配置と決まっています。当園では認可保育園の基準より保育士を１名多く配置。また病児保育を併設しているため、更に保育士1名と看護師を常時配置しています。
一人ひとりとゆったりと関わることで、個々の発達に寄り添いながら、子どもたちの成長を間近で感じることができます。

保育士が笑えば、子どもは笑う

私たちは子どもたちと遊ぶとき、いつも一緒に本気で楽しみます。楽しむ保育士の姿につられて子どもたちは笑顔いっぱい。「子どもたちの笑顔を引き出すこと」「何よりも私たちが保育を楽しむこと」――を心がけています。

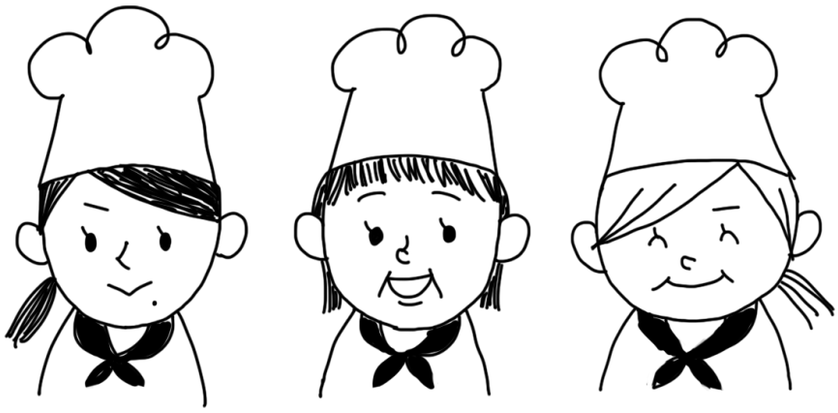
無限のアイデアで
多くのイベントを生み出す

昔ながらの伝統行事を大切にしながら、季節ご

とに毎月新しいイベントを提案します。「運動会」「発表会」といった決まりきったイベントではなく、たとえば6月は梅雨で外になかなか遊びに行けない――だったら「つゆのひ」をイベントにしよう！　とゼロをイチにする感覚でアイデアを出し合います。１から作り上げるイベントは私たちの心にも大切な思い出として刻まれ、また子どもたちの新たな能力を引き出すきっかけにもなります。

あんなことも、こんなこともやってみる

チャレンジすることを恐れずに、常に新しい保育を追求しています。もちろんハプニングはおこります。ですから「チーム」でカバーします。チームで動くことによって日常の保育はもちろんのこと、イベント時もスムーズに“こと”が流れ仲間との結束力を感じることができます。



腕によりをかけたスペシャルメニュー！

日々の食事はもちろんのこと、イベント日の食事は子どもたちの笑顔をさらに引き出すために腕を振るいます。保育士が生み出すイベントは常に斬新。その内容を確認してメニューを作成します。時には保育士も調理場に立って手伝ってくれます。

「おかわり！」「おいしかっ

た！」の子どもたちの声が響き渡ること――それが私たちの一番の喜びです。

ママの一番の理解者になる

子どもが病気になっても仕事を休めないママは多くいます。そん

なママたちのピンチを救う病児保育では、病気の子どもの看護に務めます。
「看護師さんがそばで看てくれるので安心して仕事ができます」というママからの言葉が私たちの一番の励みになっています。とは言え、病気の子どもを預けるママは心配でたまらないはず。保育士と連携しながら、子どもの様子をママにしっかり伝えます。また看護が不要な日は、子どもたちと一緒に遊んだり、食事や午睡の手伝いもしたりします。毎日子どもたちと接することで小さな変化にも気付くことができます。

トイロロレターで
私たちの想いを伝える

日々の連絡は「キッズリー」というアプリを使ってママ・パパと連携をとっています。さらに毎月、園だよりとして20ページほどの「トイロロレター」を発行しています。

イベント時の様子から子どもたちに関するヘルスケア、ママからリクエストのあったランチメニューの紹介、食育までと記事内容はさまざまです。私たちの想いを詰めることで、ママ・パパとの距離感を縮めています。

Welcome to Toyroro

「私はこの子のために生きています」親にそう言われた子は幸せなのでしょうか？
ママには「ママの人生」がある。子育てはその一部であり、子は宝ではあるが、ママの人生そのものにはならない。
私たちは女性が出産や育児によって、自分の人生の輝きが失われることがあってはならないと思っています。
あなたが輝くために、そのお手伝いがしたい――トイロロ保育園はママのための保育園です。

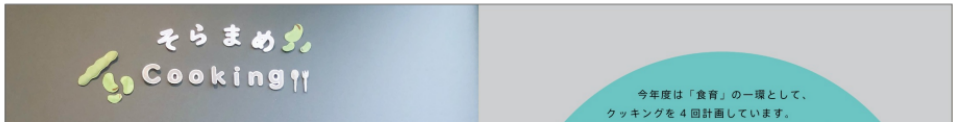
トイロロ保育園園長　中村祐介

3

CREATING IS MAGIC

自分たちで和紙とスタンプの色を選ぶと、花形のスタンプを楽しみました。一回ずつぎゅっと力を加えるとお花の模様があらわれます。模様が付くと嬉しそうに「ぴんく！あお！」と知らせる姿が見られました。また和柄の紙を思い思いに貼りました。1 枚ずつ綺麗に並べて貼ったり、同じような柄を選んで貼る姿も見られたりし、一人ひとりのこだわりを感じました。

2 歳児のお友だちはハサミに挑戦しました。事前にハサミの扱い方を知らせると真剣な表情で聞き入っていました。細長く切られた紙を一回切りしたのですが、上手にハサミを使いこなしていました。



そらまめ Cooking

今年度は「食育」の一環として、
クッキングを 4 回計画しています。

第一回目は「そら豆の皮むき」です。それに合わせて「そらまめくんのベッド」の絵本を用意し、子どもたちの興味を引き出しました。

お話には「いんげん・えだ豆・グリーンピース」がそら豆の仲間として次々に登場します。豆には種類があること、大きさの違いがあることを知りました。一人一本ずつそら豆を手にしてクッキングのスタートです。

0、1歳児の子どもたちは一緒に皮むきをしました。はじめて触れるそら豆の感触にビックリして泣き出すお友だちもいましたが、そっと触れてみたり、ぎゅっと握ってみたり、様々な姿が見られました。また、中の豆を取り出すと、不思議そうな表情を見せたり、思わず口を「あ～ん」と開けたりする反応が面白かったです。

2歳児の子どもたちは「エプロンと三角巾」をつけました。このエプロンと三角巾は2歳児だけのスペシャル――ということで、キッズたちにとっては憧れであり、特別感を得られます。エプロンと三角巾をつけた姿は嬉しさがあふれ出ていました。

saramame

食育 #1

21

ONE DAY trial（一日職場体験）で
私たちの「仕事」を
是非、見に来てください。

ARATAKA STAR HOLDINGS®